



理系大学生のための

太陽研究最前線体験ツアー

2010年8月17～20日

名古屋大学太陽地球環境研究所
 東京大学理学系研究科
 京都大学大学院理学研究科附属天文台
 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部
 国立天文台

1

2



ツアーの目的

- 世界の最先端を走る日本の太陽研究の実態を理解してもらい、今後の勉学・研究の糧にしてください。
- 大学院への進学、卒業研究の選択のために参考にしてもらおう。
- 大学を超えた参加者間の情報交換の場として利用してもらおう。
- とにかく、**太陽研究は楽しい!**ということを理解してもらおう。

プログラム 1日目:8月17日(火)

- 11:00 オリエンテーション(草野)
- 11:15 講義1「太陽物理学入門」(横山)
- 12:15 昼食(お弁当)&参加者の自己紹介
- 13:15 講義2「太陽フレアにおける粒子加速」(増田)
- 13:45 講義3「太陽風の物理」(鈴木)
- 14:15 講義4「宇宙天気と宇宙気候:太陽活動を予測する」(草野)
- 15:15 自由質問コーナー
- 16:00 飛騨天文台へ向け出発:夕食 @ひるがのSA
- 20:00 飛騨天文台到着
- 部屋割り、諸注意、65cm 屈折望遠鏡見学
- 21:30 入浴、夜食、ビデオ上映、随時就寝

4

プログラム 2日目:8月18日(水)

- 講義、実習の順序は天候に依存する
- 講義5「爆発だらけの太陽と宇宙-磁場から宇宙の謎にせまる~私の研究変遷史(1973-2010)~」(柴田一成)
- 講義6「太陽を調べる光の目」(一本潔)
- ひので共同観測の見学、実習
- 宿泊飛騨天文台

5

プログラム 3日目:8月19日(木)

- 08:00 出発
- 11:00 野辺山到着
- (昼食野辺山観測所)
- 講義7「電波で見る太陽」(下条圭美)
- 野辺山太陽電波ヘリオグラフ見学、実習
- 宿泊国立天文台野辺山

6

プログラム 3日目:8月20日(金)

- 08:00 出発
- 11:00 三鷹到着
- 昼食(三鷹キャンパス)
- 講義8「太陽観測衛星「ひので」」(清水敏文)
- 講義9「太陽内部のダイナミクス」(関井 隆)
- 講義10「次期太陽観測衛星SOLAR-C」(原 弘久)
- 懇談時間、アンケート記入
- 17:00 解散

7

注意事項

- 移動中は添乗者(大学院生の大井さん)、各観測所滞在中は担当教員の指示にそれぞれ従ってください。
- 具合が悪くなった場合は、すぐに申し出てください。
- 参加費用(7,000円の予定)は飛騨天文台でお支払いください。
- 本日配布した名札はツアー終了まで利用します。なくさずに持ち歩いてください。

8